

十月一日より

「二事業始まる

北九州市腎友会

皆様の「ご利用を！」

北九州市腎友会では、「さわやか」に続き、二つの事業を今年10月から開始する予定です。

その一つは、特定非営利活動法人（申請中）ホームヘルプ事業いきいき北九州です。

この事業は、透析患者と難病者のホームヘルプサービスを、北九州市の委託事業として、行うものです。通院介護事業をしていく中で、通院だけでは、家事援助や介護支援がなければ、患者さんが中々退院が困難であることが判りました。

また、介護保険制度も来年4月より実施されます。市腎友会では、これに対応するために、ホームヘルプ事業をすることにしました。

特定非営利活動法人という法人格をとり、介護保険にも対応できるようにしています

当面は、北九州市の委託事業として、透析患者と難病患

者のホームヘルプサービスをを行います。また、介護保険の認定からはずれた方、介護保険の認定はとれたが、1割負担の困難な方のホームヘルプサービスを行います。

ヘルパーさんは、北九州市福祉サービス協会から派遣してもらいます。公的資格のある、ヘルパーさんですから安心して支援が受けられます。

あと一つは、北九州市障害者小規模共同作業所として市認定の軽食・喫茶「やすらぎ」です。

これは、なかなか就職が困難な透析患者の働く場として非営利で患者の社会参加を目的として営業されます。

場所は、北九州市総合医療

「さわやか」よりお願い 原則を守って下さい

秩序が乱れると 運営に支障をきたします

熱帯低気圧が九州を覆い毎日曇大が続いています。夏も終わりの秋の気配が感じられますが、ボランティアの皆様、益々お元気でお過ごしのこととおもいます。

利用者の皆様も透析治療に頑張っておられることと思います。

さて、今回は、「さわやか」の運営に関して、皆様にお

お願いしたいことがあります。

近頃、少し気になるのは、通院事業が安定して、慣れしてきたのか、利用者の方が直接ボランティアさんに連絡をとり、送迎の日時を決められていることです。

中には、コーディネーターが「明日は〇〇さんは、都合が悪くお迎えに行けません」と電話をいれると、「では、

センター（旧小倉市立病院）横に建築中の北九州市総合保健福祉センターの一階に設置されます。

すでに、14名の透析患者が働くことが内定しています。

機会がございましたら、10月1日オープンですので、激励におこしくださいませ。

北九州市腎友会では、「さわやか」2事業所を先頭に二つの兄弟事業所が誕生します

皆様の心からのご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

△△さんがおられますよ」と利用者の方が指示をされることもあります。

送迎事業は、通院介護センター「さわやか」という団体がおこなっているもので、個人の事業でないことを、再度認識を改めていただきたいと思います。

個人間で取引をされると「さわやか」の存在価値はなくなりません。また、個人では今のような送迎は出来ないと考えます。ボランティアさんは、心根の優しい方が多いので、患者さんから直接お願いされることわりきれない

▲近頃は、暗いニュースのなんて多いこととつぶやきとでしよう。法の番人の笹の神奈川県警次から次へと良くもまあ悪いことをしたな、と呆れるばかりです。▲幹部の報告も三転、どこまでが嘘か本当か判断がつかかねます。嘘を言わぬ筈の警察の幹部がくること話を替えるのだけは、庶

ボランティアさん募集

皆様ご回りの、1～2時間ほどの時間的余裕のある方がおられましたら、ご紹介をお願いします。「さわやか」では、利用者が増えてボランティアさんが少し不足しています。

いこともありません。

「さわやか」の事業をこれからも、順調に発展させていく上からも、個人間の交渉はつしんでいただくようお願いいたします。

民にはどうして理解出来るものではないですね。▲長崎県では、母親が子供を殺すという、信じられない事件が起きました。子供が親を殺すことも異常なのに、自分がお腹を痛めて産んだ子供を殺すとは、狂気の沙汰ではすまされぬものがあります。▲事件には、紐付きの男がいて、この男が、狂気の元締めをしていたことが判明してきました。それなら、考えられないこともないなあと感じます。▲その他、様々な事件が多発しています。驚くことに、その多くが、事件を起こしたらいけない人が、現在は事件を起しているのです。▲官僚、政治家、学校の先生、警官など、精錬潔白でなければならぬ人が事件に係わっています。病院での事故も目につきます。あつてはならないことが病院の現場で起こっています。▲景気が停滞し、失業者がふえ、庶民は（私も含め）生きる展望を見失いかけていくからではないでしょうか。社会に目をむけ、絶えず展望を見失わないよう、元気一杯人生を送るうではありませんか。いままも、ボランティア精神を大いに発揮する時期ではないでしょうか。